

キーサーバー機能を利用する

コックキー管理ソフト _AN DISK Key Server

「LAN DISK Key Server」(以下本ソフト)は、LAN DISK の内蔵ボリューム暗号化 機能で生成されたロックキー内のキーを一括管理するサーバーソフトウェアです。

本ソフトがロックキーの代わりにLAN DISKの暗号化を解除しますので、都度ロックキー を接続しなくとも運用することが可能になります。

●対応 LAN DISK

HDL-H シリーズ HDL-XR シリーズ

●対応 OS

- ・Windows 10 (64/32 ビット版)
- ・Windows 8 (64/32 ビット版)
- ・Windows Vista (64/32 ビット版)
- Windows Server 2012 R2*1
- · Windows Server 2008 R2*2
- ・Windows 8.1 (64/32 ビット版)
- ・Windows 7 (64/32 ビット版)
- ・Windows XP (32 ビット版)
- · Windows Server 2012 *1
- ・Windows Server 2008 (64/32 ビット版) *2
- ・Windows Server 2003 R2 (64/32 ビット版) *2
- ・Windows Server 2003 (64/32 ビット版) *2*3
- ※ 1 フルインストールのみ対応しています。
- ※ 2 Standard/Enterprise のみ対応しています。Server Core モードには対応していません。
- ※3 SP1 以降より対応しています。

INDEX

起動する	2
キーを登録する	3
連携許可設定	5
登録情報をコピーする	6
画面について	7

インストールする

ご注意

●本ソフトをインストールをすると、「LandiskKeyService.exe」(本ソフト)に関してファイアウォールの設定が更新されます。 ファイアウォール用のサービスが起動されていない場合など、ファイアウォールの設定が更新されない場合は、手動で 「LandiskKeyService.exe」(本ソフト)の通信許可をおこなってください。

※ LandiskKeyService.exe 通信情報

ポート番号	Key Server 管理ツールで設定したポート番号
プロトコル	TCP
方向	IN(入力)

- ●アンインストールすると、登録したキーの情報はすべて削除されます。再度本ソフトをインストールする場合、キーの再登録が必要です。
 - **す** ダウンロードしたファイルをダブルクリックファイルが解凍されます。

2



解凍したファイル内の [Setup.exe] をダブルクリック

インストールを開始します。

この後、画面の指示にしたがってインストールしてください。

アンインストール方法

[コントロールパネル]の[プログラムのアンインストール]から削除します。

起動方法

※ Windows 8 の場合は下の参考をご確認ください。



スタートメニューから

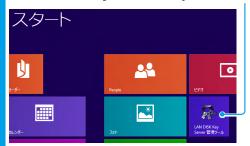
[(すべての) プログラム] → [I-O DATA] →

 $[\mathsf{LAN}\;\mathsf{DISK}\;\mathsf{Tools}]\;\rightarrow\;[\mathsf{Key}\;\mathsf{Server}]\;\rightarrow\;$

[LAN DISK Key Server 管理ツール] の順にクリック

Windows 8 で起動する場合

[スタート] 画面の [LAN DISK Key Server 管理ツール] をクリックします。



※ [スタート] 画面に [LAN DISK Key Server 管理ツール] がピン留めされていない場合は、[アプリ] 画面の [LAN DISK Key Server 管理ツール] をスタート画面にピン留めしてください。



キーを登録する

本ソフトがロックキーに代わって暗号化された LAN DISK にアクセスできるようにするためには、事前にキーを本ソフトに登録する必要があります。

- 】 対応 LAN DISK のボリュームが暗号化されていることを確認する ※設定画面の開き方、ボリュームの変更は、対応 LAN DISK のマニュアルをご覧ください。
- 2 本ソフトをインストールしたパソコンに、ロックキーを挿す
- 3 本ソフトを起動する
 - ※<u>【起動する】(2ページ)</u>参照







これでキーの登録は完了です。



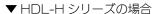
LAN DISK 側の設定

次にLAN DISK 側で、どのキーサーバーを利用するかを設定します。

ロックキーが挿入されていない状態でLAN DISK が起動すると、LAN DISK は本設定で登録されたキーサーバーへキーの要求をおこないます。

- **1** LAN DISK の設定画面から、ロックキー設定画面を開く
 - ※設定画面の開き方は、対応 LAN DISK のマニュアルをご覧ください。
 - ・HDL-H シリーズの場合、「ボリューム]→「ロックキー]→「キーサーバー]をクリックします。
 - ・HDL-XR シリーズの場合、[ディスク設定]から[ロックキー設定]をクリックします。

2 キーサーバー機能を設定する



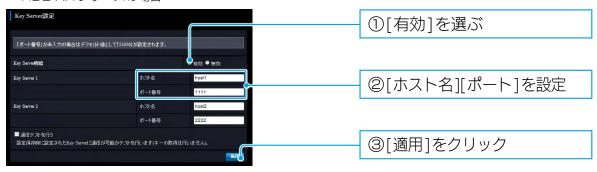


[キーサーバー]には、本ソフトをインストールしたパソコンの名前を入力します。

※ポート未入力の場合は、51056になります。

本ソフトで利用するポート番号を変更している場合、変更したポート番号に合わせて設定してください。 ※通信テストをおこなう場合は、設定後に設定画面の[システム]→[自己診断]で[キーサーバー]を選択 し、自己診断を実行してください。

▼ HDL-XR シリーズの場合



[ホスト名]には、本ソフトをインストールしたパソコンの名前を入力します。

※ポート未入力の場合は、51056になります。

本ソフトで利用するポート番号を変更している場合、変更したポート番号に合わせて設定してください。 ※通信テストをおこなう場合は、設定時に [通信テストを行う] をチェックしてください。

これでLAN DISK 側の設定は完了です。

ご注意

●通信テストでエラーが出た場合は、パソコン、サーバーに本ソフトがインストールされていること、本ソフトをインストールした パソコンがネットワークに接続されていることを確認してください。



連携許可設定

本ソフトにて LAN DISK との連携許可設定をすることにより、遠隔からのキーの登録、 キーのコピーなどができるようになります。

以下の操作をおこなう場合は、事前に連携許可設定をおこなってください。

- 他のキーサーバーからキーをコピーする場合
- ・LAN DISK からキーサーバーへキー登録をおこなう場合*
- ・LAN DISK でキーサーバーからロックキーを生成する場合*
- ※ HDL-XR シリーズは非対応

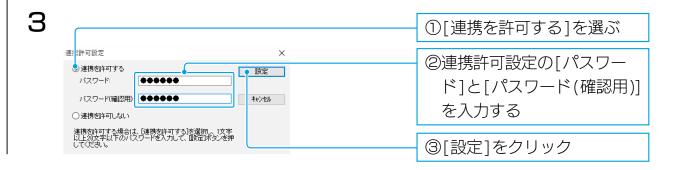
ご注意

●本設定で連携可能なキーサーバーは、LAN DISK Key Server バージョン 1.20 以降です。

■ 本ソフトを起動する

※【起動する】(2ページ)参照





これで設定は完了です。



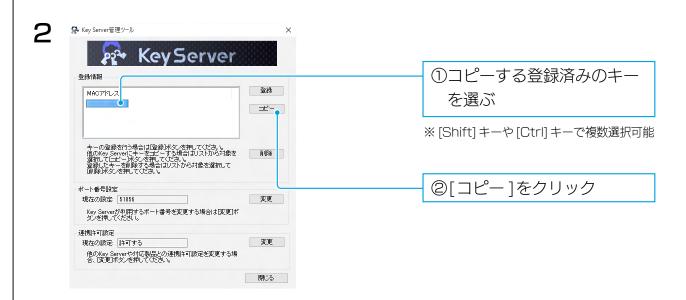
登録情報をコピーする

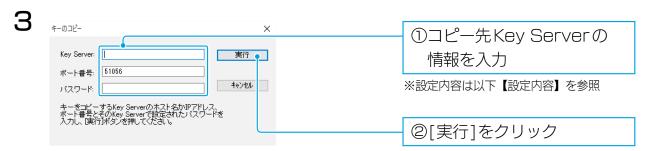
登録したキーを他のキーサーバーにコピーする機能です。

ご注意

●事前にコピー先の LAN DISK Key Server の連携許可設定を [許可する] に設定してください。

- 1 本ソフトを起動する
 - ※ 【起動する】 (2ページ)参照





▼設定内容

Key Server	コピー先の Key Server のホスト名または IP アドレス
ポート番号	コピー先のポート番号
パスワード	コピー先の本ソフト連携許可設定のパスワード



これでコピーは完了です。



画面について



登録	キーを登録します。
	(【キーを登録する】 (3 ページ) 参照)
コピー	キーをコピーします。
	(<u>【登録情報をコピーする】(6 ページ)</u> 参照)
削除	選択したキーを削除します。
ポート番号設定	ポート番号を変更する場合は、[変更]ボタンをクリックします。
	初期値:51056
連携許可設定	他のKey ServerやLAN DISKとの連携許可設定を変更する場合は、
	[変更] をクリックします。
	(【連携許可設定】 (5 ページ) 参照)
閉じる	この画面を閉じます。